

2度目の新潟日報スポーツ賞を受賞 レスリングの原喜彦さん



十二月九日「第十一回新潟日報スポーツ賞」の選考委員会が開かれ、レスリングの原喜彦さんが、昭和五十九年に次いで二度目の受賞が決まり、十二月二十二日、新潟日報黒崎本社で表彰式が行われました。

この賞は、国内外で優秀な成績を上げ、県スポーツ界の発展に貢献した個人、団体をたたえるため毎年行っています。

今回の直接の受賞理由は、十月十三日からインドのボンベイで開かれた「アジアアマチュアレスリング選手権大会」で金メダルを獲得（グレコローマンスタイル・六十八キログ級）したことが高く評価されたものです。

原さんは、日本体育大学卒業後同校の体育研究生として、勤務の傍ら練習に励んできましたが、現在は、ソウルオリンピックの強化選手として、東京青少年研修センターで合宿中で、今回は表彰式に参列するため特別の帰郷となったわけですが、合宿が気がかりで、表彰式終了後すぐ帰京しました。

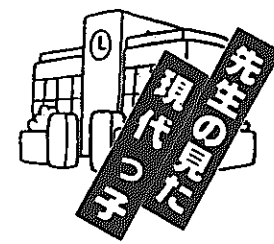


アジアアマチュア選手権大会で金メダルを獲得するなど活躍中の原喜彦さん（上浦・23歳）

中学生のとき、県中学校体育大会の柔道の中量級で二位になりましたが、巻農高校へ進学してからレスリングに転向し、以後メキメキ実力をつけていきました。

これまでに、北信越高校大会六十キログ級で、五十五年、五十六年と二年連続優勝。全日本学生選手権大会六十八キログ級で五十九年、六十年とこれも二年連続優勝。五十九年三月にカナダで開かれたエスポワール・ワールドカップで二位。最近では、今年の七月開かれたアマチュアレスリング全日本選手権大会で優勝。十一月のソウルインターナショナルレスリングトーナメント（プレ五輪）で銀メダルになるなど、数々の優秀な成績を取っています。

今後の目標はオリンピックです。ね——と話しを向けると「まだまだです。僕より強いのがいっぱいいますから」と言葉少なですが、ぜひソウルオリンピックに出場し晴れのひのき舞台で活躍されることを期待しています。



指示待ち族

教室へ入るとき、いつも気になることがある。必ずと言っていいほど、出入り口の戸が開きっぱなしになっているのである。「最後に教室へ入った人はだれですか。」

「……………」

「近くの人、閉めなさい。」

「……………」

いつになっても戸が閉まらない。

ストーブに火が入り、教室を暖めなくてはいけないのに、いつも戸が開いているのである。「どうしていつも戸が開いてい

るのだろう。」

「後からだれかが来る。」

「入るときから戸が開いていた。」

「つい、忘れてしまった。」

だれかが、開いていた。ついこの三つのために、戸が閉められないようなのである。

同じようなことが、子供たちを取り巻く生活の中に数々見られる。

最近、「指示待ち族」などというあまりかんばしくない言葉を聞くが、こうしろあししろと言われればやるけど、自分で考えて進んで何かしようとか、人のために尽くすというような態度が少なくなっている。

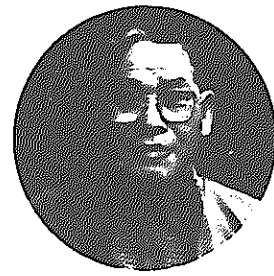
これらの子供の原因は、干渉と過保護が原因であるとも言われている。

労を惜みず、生き生きと積極的に行動し、実行する子供が一人でも多く増えるように願っている。

（根岸小学校にお願いしました）

渡し船を呼ぶ声が聞こえる。活気のある船着き場

語る人
小野与次郎さん
（砂原甲・65歳）

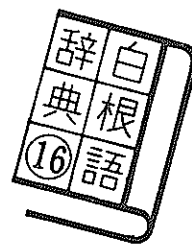


私の思い出 昔のものが橋

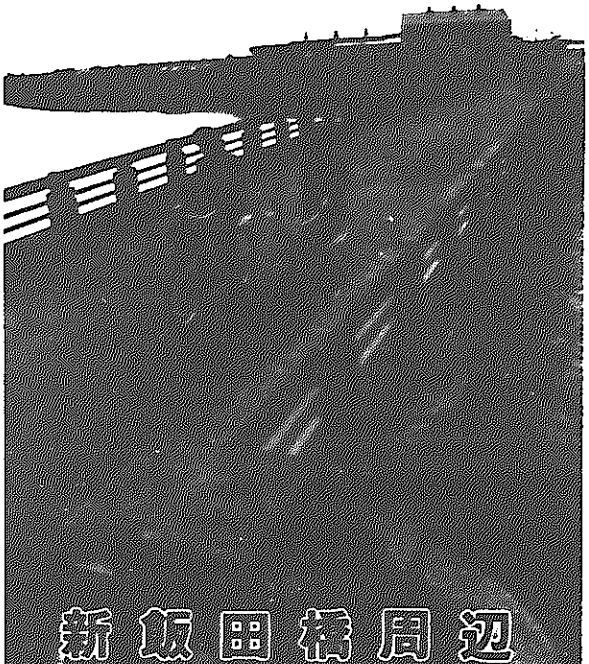
新飯田橋が出来て、早くも五十年以上たちました。橋が出来る前、渡し船が川を行き来していたところのことが懐かしく思い出されます。市の日になると、農家の人たちが思い思いの野菜を背負って船に乗る姿……中には大声でなにやら話をしている人……今でも目に見えるようです。

昔は川船の船着き場もあって、なかなか活気があったのですが、電車や自動車を通るようになってからすっかり変わってしまいました。船着き場は見る影もなく、今はただ「たしか、この辺りだったなあ」と思い出すだけです。

しかし、川の流れば昔と変わっていません。オーイ、オーイとどこかで渡し船を呼んでいるような錯覚にとらわれることがあります。やがて今の橋も、そろそろ掛け替えの時期とか、チラホラうわさ話が出ています。そのころになると、またこの辺も変わって行くと思います。



- はつめ まめに動く
はばる 口の中に入れる。庄瀬・根岸地方
はやいのし 朝のあいさつ（早いですね）
はようございませう 新飯田地方
方
はよこいや 早く来い
はらき ひとえ浴衣
はらくつちえ 腹いっぱい
ばらはちかん 散らかしている
状態
だらこっぺい 庄瀬地方
だりこっぺえ 新飯田地方
はる つれる
はんぞう たらい。新飯田・茨曾根・白根・大郷・鷺巻・根岸地方
ばんば 背負う。根岸地方
ばんげ 晩
はんばぎぬぎ 反省会
ひーけ 低い
ひーれ 広い
ひこ ひよこ。庄瀬・鷺巻地方
ひよっこ 全地域
ひる かわく
ひんなか 昼中
こつびるま 庄瀬・大郷・白井地方
- まっびるま 白井・大郷地方
ぶう 背負う
ふきのほんぼん ふきのとう。茨曾根地方
ずぼ 白井・鷺巻・根岸地方
ふくする 引きずる
ふけさめ 病気などで体が震えること
ふじやく ひじやく。新飯田・白井・大郷・鷺巻・根岸地方
ぶちやる 捨てる
べちやる
ふつ ひつ
ふつかく かみつく
ふつけ 深い
ふつけえ 新飯田・茨曾根地方
方
ふつつぶあく 引き裂く
ふつて 大きい
ふつてえ 新飯田地方
ふるや 銭湯屋
ふんげる ける
べえーく バイク
へえーる 入る
へえきた もう来た、早く来た
へえりぐち 玄関。新飯田地方とまぐち



新飯田橋周辺

現在の橋の下手に船着き場と渡し場があった。当時は新潟・燕間を客船が、新潟・長岡間を貨物船が運航していた。客船は金持ちの乗り物だった。貨物船は新飯田では主に肥料を降ろし、果樹を積んでいった。中之口村から渡し船を使って、新飯田の街での買い物や、映画館、料理屋に訪れる人が多かった

